

# 夢・努力・感動

～生徒とともに～

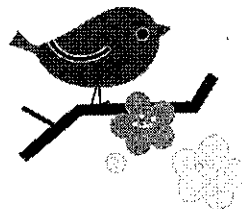
平成31年3月18日(月)

人権・同和教育部より

2年生 生徒・保護者版

みなさんこんにちは、人権・同和教育部です。3月になり、年度末が近づくにつれて暖かな春の日差しが感じられるようになってきました。

さて、今回は2月に行った今年度最後の人権・同和教育HR活動について振り返ってみたいと思います。



## 2年生人権・同和教育HR活動(2月13日実施)

### 今回のHR活動の主な内容

- 江戸時代から現在に至るまでの、同和問題の歴史の大まかな流れをふり返る。
- 2年生が昨年4月に行った「人権に関する意識調査」の中には「へたに部落差別問題を意識させるより、考えさせない方がいいと思う」、「自分はこれからも差別をしないし、されないので同和教育は必要ない」というような意見を書いていた人もいました。これらの意見に対してどう思うか、グループワークを通して考える。

#### 「人権に関する意識調査」(2年生、昨年4月実施)

問11 あなたは、学校や地域社会での「同和教育」や「啓発活動(差別をなくすために人々に広く呼びかける活動)」についてどう思いますか。

- (1) 是非ともするべきだと思う。・・・69%
- (2) するべきだと思うが、現在の内容や方法は問題があると思う。・・・12%
- (3) 必要だとは思わない。・・・1%
- (4) むしろないほうがよいと思う。・・・2%
- (5) 分からない。・・・16%

2年生全体の80%以上が同和教育をするべきだと思っている!!

- ある大学の非常勤講師が、福島県出身の女子大生に対して、教室の電気を消して「放射能を浴びているから光らなくなった」という差別的な言動をしてしまった原因を考える。
- 「同和对策審議会答申」から同和問題の本質が、日本国憲法に規定されている基本的人権を享受できていない人々が存在しているという重大な社会問題であるということを確認する
- 教師のまとめを聞き、本時の感想文を書く。

### ○生徒の皆さんの感想文より

- 「同和教育などで差別の事を知ったとき、差別がよけいにひどくなってはいけなから」などの意見を見たとき、同和教育はしない方がいいという考え方も一理あるかと思いました。でも、女子大生が放射線に関する無知や偏見によって差別的な言動を受けたことなどを考え

たら、「差別のことを知らない方がいい」という考え方自体が、差別につながるよくない考え方だと感じました。

- 「同和教育をすると、部落差別を知らなかった人まで差別をしてしまう可能性がある」という意見もあるそうです。でも、今の高校生が「同和問題についてきちんと授業を受けた後に、「あなたは人を差別しようとしていますか」と問われれば、自分も含めてほとんどの人が「そんなことはない」と答えると思います。だから、同和教育はこれまでどおりやるべきだと私は思います。ただし、授業の内容は講演会とかいろいろと工夫してほしいです。
- 今回、自分と違う意見をたくさん聞いて共感できる部分もたくさんありました。人権問題は簡単に解決できる問題ではないし、何よりも差別している人達が変わっていかなくてはならないので、正しい知識を得ること、差別を解消しようとする姿勢で学ぶことが大事だと思います。
- 私もこの先、人を差別するつもりがないので、同和問題学習なんて必要ないと思っていました。でも言われてみれば、いろんな事を知りもしないで差別をしないなんて言い切ること自体が甘い考え方だし、自分が何らかの差別を受けたとき、対応できないだろうと思いました。
- だいたい、明治時代の解放令後には同和教育とかされてなかったのに差別はなくならなかったんだから、「寝た子を起こすな」式の「そっとしておけば差別はそのうちなくなる」という考え方は、間違いだと思いました。それに、現在差別を受けて苦しんでいる人達からしたら、こういう考え方は「自分とは関係ない事なので黙って耐えてください」と言っているような冷たくて無責任な言葉だと言うことがわかりました。
- 今まで生きてきた中で身近に部落差別を感じたことは正直ありません。でも、これまで習ってきたように、今でも現実に差別が存在しています。「自分で見ようとしなければ差別は見えない」という言葉に改めてハッとしました。

差別をなくすことは、差別されている側の人達ためだけでなく、差別する側のためでもあります。差別のない社会は、すべての人々にとって住みよい社会であり、一人ひとりが差別に気づき、なくすために行動することが重要だと思います。3年生では就職差別や結婚差別について取り扱うとともに、最後のまとめとして講師の方をお招きして講演会を行う予定です。来年度もしっかりと学んでください。

\* . \* . \* . \* . \* . \* . \* . \* . \* . \* . \* . \* . \*

2年生のみなさんは4月から3年生になり、高校生活も一日一日がかけがえのないものになっていきます。これからも周囲の人に気持ちは考えながら行動し、困ったことがあれば、友人や先生に相談するなど人との関係を大切にしながら勉強や部活動等、残りの高校生活を充実したものにしてください。(文責 森山祐司)

